

有機EL、九大と連携

熊本県

九州大学と熊本県は有機EL照明機EL（エレクトロ・ルミネッセンス）の技術開発で連携する。九大の材料技術を熊本県内の企業に移転するほか、同県が開設する有機EL製品の試作・評価施設を活用した製品開発や人材育成に

取り組む。有機EL照明を手掛ける地元企業とも協力し、九州に有機ELの関連産業を集積させる狙いだ。連携協定を結ぶのは、九大の有機EL研究を担う「最先端有機光エレクトロニクス研究センタ

製品開発や人材育成

関連産業九州集積狙い

（OPERA）と、熊本県などが今月設立する「くまもと有機薄膜技術高度化支援センター」。支援センターには有機ELを使った機器の試作や評価ができる設備が整い、地元企業や大学が研究開発に活用する。九大は有機EL用の材料開発を中心に手掛けている。一方、熊本県は半導体関連産業が集積している。